

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
320	精神障害者社会復帰施設運営事業	01	01	一般会計	
基本施策	5	障がいのある人の自立した生活を支える	03	民生費	
			01	社会福祉費	
			04	障害福祉費	
担当部課名	健康福祉部 高齢障害課		104	精神障害者社会復帰施設運営事業	
作成者氏名	榊 光裕	連絡先	22-9657	01	精神障害者社会復帰施設運営事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
	就職することが困難な精神障がいのある人	当該施設に通所し、訓練を受けることにより社会復帰ができるようになり、社会で自立した生活が営まれるようになる。			
本年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●精神障害者社会復帰施設に対して運営補助(社会福祉法人伊賀晃会 通所授産施設太陽作業所) ●月6日以上に通所者に1人当たり19,000円を補助。 				
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	健康福祉部関係補助金等交付要綱

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	4,517	5,016	4,200
補助金	4,517	5,016	4,200
その他			
合計(A+B)	5,237	5,736	4,920
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	5,237	5,736	4,920
上記①～③に関する特記事項			
平成19年度以降に補助金の見直しを行う。 (H18 19,000円×264名、H19 15,000円×280名)			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
施設通所者数	人/年	264	280	300			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
対象者適用比率 (施設通所者/精神障害者社会復帰対象者)	精神障がいのある人で社会復帰の可能対象者を分母とし、施設に通所している利用者を分子として対象者の適用比率を指標とする。	%	12 目標 (15)	12	15
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

<ul style="list-style-type: none"> ・従前より運営補助を行ってきたが、同種の施設等には補助を行っていないため、均衡を取るためにも補助金額の適正化を図っていく必要がある。 ・障害者自立支援法の施行に伴い、各種障害者福祉施設の運営が厳しくなることが予想されるが、市からの支援基準を今後整備検討していく必要がある。

評価	必要性	4	精神障がいのある人にとって社会復帰施設等の果たす役割は重要であるが、運営補助のあり方については、他の障害者福祉施設との均衡も考慮しながら、補助額の適正化を図る必要がある。	総合評価 B
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	2		